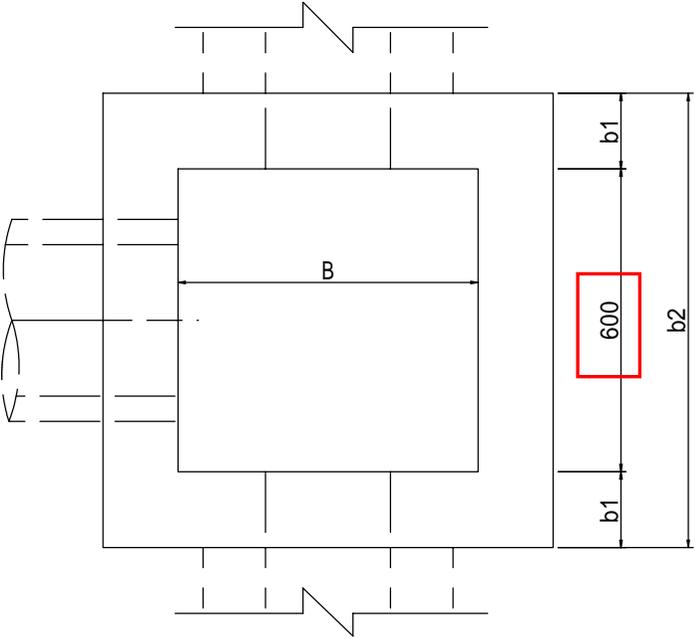
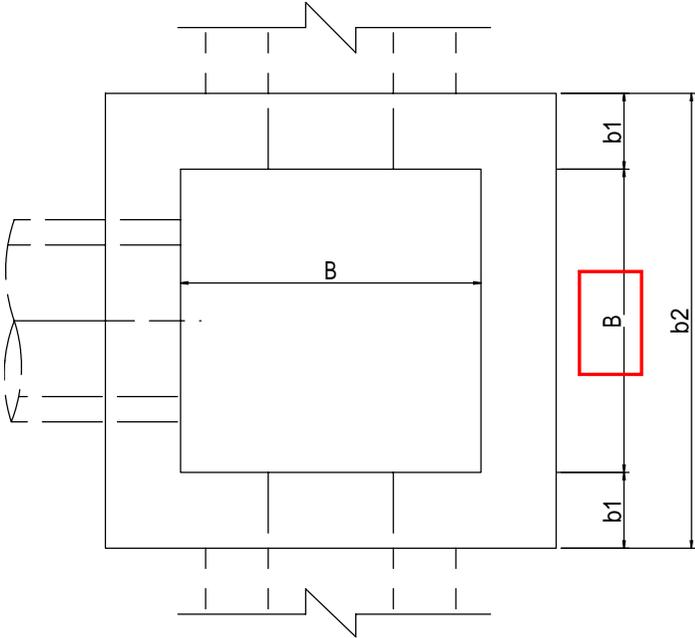


頁	標準図名	訂正内容		
		内容	誤	正
17	コンクリートブロック基礎、天端コンクリート	注意書きの内容を訂正	前面に水田等が位置し、基礎砕石からの漏水が懸念されるような遮水性を必要とする箇所には、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10cm) を使用する。	現場条件 (前面に水田等が位置する場合や地盤が軟弱な場合など) により必要と判断される場合は、基礎砕石に替えて均しコンクリート (t=10cm) を使用する。
96	集水枡 (車輛考慮なし)	枡の幅 600 の表記を B に訂正	 <p>The diagram shows a cross-section of a water collection basin. The width of the basin is labeled as 600. The height is labeled as b2. The width of the top flange is labeled as b1. The width of the basin is labeled as B. The diagram is shown in two views: a top view and a side view.</p>	 <p>The diagram shows a cross-section of a water collection basin. The width of the basin is labeled as B. The height is labeled as b2. The width of the top flange is labeled as b1. The width of the basin is labeled as B. The diagram is shown in two views: a top view and a side view.</p>

頁	標準図名	訂正内容		
		内容	誤	正
106	管渠工 (360°固定基礎)	P300型、P400型ともに h1 と h3 の表記を訂正	<p>管渠工 P300型(RC管 360°固定基礎)</p> <p>P400型(RC管 360°固定基礎)</p>	<p>管渠工 P300型(RC管 360°固定基礎)</p> <p>P400型(RC管 360°固定基礎)</p>

頁	標準図名	内容	訂正内容																																																																																													
			誤	正																																																																																												
110	ガードレール基礎工 (5.0m L<10.0m)	<p>・ガードレール支柱の補強鉄筋の本数を訂正</p> <p>・基礎工延長の適用範囲を訂正</p> <p>・アンカー筋位置の表記の削除</p>	<p>材料表 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">材料表</th> <th colspan="12">鉄筋表</th> </tr> <tr> <th>コンクリート (m³)</th> <th>型枠 (m²)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.40</td> <td>12.0</td> <td>D13</td> <td>1,490</td> <td>20.0</td> <td>30</td> <td>D16</td> <td>1,130</td> <td>40.0</td> <td>71</td> <td>D13</td> <td>9,600</td> <td>7.0</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 本図は、衝突荷重を考慮した設計であり、基礎工延長L 5.0mに適用できる。 2. 築堤部において基礎工を施工する場合は、堤防定規断面内に入れてはならない。 3. 型枠は、ポスト建込穴の面積は含まない。 4. 以下の防護柵の基礎に適用する。その他の場合は、鉄筋量・建込穴の大きさについて、『車両用防護柵標準仕様・同解説(平成16年3月)』を参照の上検討すること。 5. 維持管理・補修工事等で、既設位置で施工する必要がある場合はこの限りでない。</p> <p>ガードレール補強鉄筋</p> <p>アンカー筋位置 4x300=1,200</p>	材料表		鉄筋表												コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	5.40	12.0	D13	1,490	20.0	30	D16	1,130	40.0	71	D13	9,600	7.0	67	<p>材料表 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">材料表</th> <th colspan="12">鉄筋表</th> <th colspan="4">補強鉄筋材料表 (1箇所当たり)</th> </tr> <tr> <th>コンクリート (m³)</th> <th>型枠 (m²)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.40</td> <td>12.0</td> <td>D16</td> <td>1,130</td> <td>40.0</td> <td>71</td> <td>D13</td> <td>9,600</td> <td>7.0</td> <td>67</td> <td>D13</td> <td>1,490</td> <td>2.0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 本図は、衝突荷重を考慮した設計であり、基礎工延長5.0m L<10.0mに適用できる。 2. 築堤部において基礎工を施工する場合は、堤防定規断面内に入れてはならない。 3. 型枠は、ポスト建込穴の面積は含まない。 4. 以下の防護柵の基礎に適用する。その他の場合は、鉄筋量・建込穴の大きさについて、『車両用防護柵標準仕様・同解説(平成16年3月)』を参照の上検討すること。 5. 維持管理・補修工事等で、既設位置で施工する必要がある場合はこの限りでない。</p> <p>ガードレール補強鉄筋</p> <p>アンカー筋位置 4x300=1,200</p>	材料表		鉄筋表												補強鉄筋材料表 (1箇所当たり)				コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	5.40	12.0	D16	1,130	40.0	71	D13	9,600	7.0	67	D13	1,490	2.0	3
材料表		鉄筋表																																																																																														
コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)																																																																																			
5.40	12.0	D13	1,490	20.0	30	D16	1,130	40.0	71	D13	9,600	7.0	67																																																																																			
材料表		鉄筋表												補強鉄筋材料表 (1箇所当たり)																																																																																		
コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)																																																																															
5.40	12.0	D16	1,130	40.0	71	D13	9,600	7.0	67	D13	1,490	2.0	3																																																																																			
111	ガードレール基礎工 (L=10.0m)	<p>・ガードレール支柱の補強鉄筋の本数を訂正</p> <p>・アンカー筋位置の表記の削除</p>	<p>材料表 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">材料表</th> <th colspan="12">鉄筋表</th> </tr> <tr> <th>コンクリート (m³)</th> <th>型枠 (m²)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.20</td> <td>12.0</td> <td>D13</td> <td>1,490</td> <td>20.0</td> <td>30</td> <td>D16</td> <td>730</td> <td>40.0</td> <td>46</td> <td>D13</td> <td>9,800</td> <td>5.0</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 本図は、衝突荷重を考慮した設計であり、基礎工延長L=10.0mに適用できる。 2. 築堤部において基礎工を施工する場合は、堤防定規断面内に入れてはならない。 3. 型枠は、ポスト建込穴の面積は含まない。 4. 以下の防護柵の基礎に適用する。その他の場合は、鉄筋量・建込穴の大きさについて、『車両用防護柵標準仕様・同解説(平成16年3月)』を参照の上検討すること。 5. 維持管理・補修工事等で、既設位置で施工する必要がある場合はこの限りでない。</p> <p>ガードレール補強鉄筋</p> <p>アンカー筋位置 4x300=1,200</p>	材料表		鉄筋表												コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	4.20	12.0	D13	1,490	20.0	30	D16	730	40.0	46	D13	9,800	5.0	49	<p>材料表 (10m当たり)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">材料表</th> <th colspan="12">鉄筋表</th> <th colspan="4">補強鉄筋材料表 (1箇所当たり)</th> </tr> <tr> <th>コンクリート (m³)</th> <th>型枠 (m²)</th> <th>径</th> <th>1本当たり長さ (mm)</th> <th>本数 (本)</th> <th>質量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.20</td> <td>12.0</td> <td>D16</td> <td>730</td> <td>40.0</td> <td>46</td> <td>D13</td> <td>9,800</td> <td>5.0</td> <td>49</td> <td>D13</td> <td>1,490</td> <td>2.0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 本図は、衝突荷重を考慮した設計であり、基礎工延長L=10.0mに適用できる。 2. 築堤部において基礎工を施工する場合は、堤防定規断面内に入れてはならない。 3. 型枠は、ポスト建込穴の面積は含まない。 4. 以下の防護柵の基礎に適用する。その他の場合は、鉄筋量・建込穴の大きさについて、『車両用防護柵標準仕様・同解説(平成16年3月)』を参照の上検討すること。 5. 維持管理・補修工事等で、既設位置で施工する必要がある場合はこの限りでない。</p> <p>ガードレール補強鉄筋</p> <p>アンカー筋位置 4x300=1,200</p>	材料表		鉄筋表												補強鉄筋材料表 (1箇所当たり)				コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	4.20	12.0	D16	730	40.0	46	D13	9,800	5.0	49	D13	1,490	2.0	3
材料表		鉄筋表																																																																																														
コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)																																																																																			
4.20	12.0	D13	1,490	20.0	30	D16	730	40.0	46	D13	9,800	5.0	49																																																																																			
材料表		鉄筋表												補強鉄筋材料表 (1箇所当たり)																																																																																		
コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)	径	1本当たり長さ (mm)	本数 (本)	質量 (kg)																																																																															
4.20	12.0	D16	730	40.0	46	D13	9,800	5.0	49	D13	1,490	2.0	3																																																																																			